

令和 7 年 1 月 22 日
総合政策局国際政策課(グローバル戦略)
総合政策局海外プロジェクト推進課(交通プロジェクト)
不動産・建設経済局国際市場課
港湾局産業港湾課

「日・コートジボワール官民インフラ会議」等の開催結果

～アフリカにおける我が国の「質の高いインフラ」の理解促進に向けて～

国土交通省は、令和 7 年 1 月 10 日にコートジボワール共和国政府と連携して日・コートジボワール官民インフラ会議をアビジャンで開催しました。日本からは、古川副大臣による開会挨拶のほか、官民の参加者による本邦技術・知見の共有や質の高いインフラの実現に向けた取組状況を紹介しました。同国政府からは、マンベ首相による基調講演のほか、各省から同国のインフラ整備案件や投資環境の状況説明と日本への期待について述べられ、両国の官民の参加者によるビジネスマッチングが行われました。

あわせて古川副大臣が先方政府のインフラ関係閣僚と会談を行い、同国のインフラ開発に本邦企業が参画し貢献することを期待する旨表明しました。

日・コートジボワール官民インフラ会議概要

- (1) 日 程 令和 7 年 1 月 10 日 (金)
- (2) 会 場 コートジボワール共和国アビジャン (Noom Hotel 内)
- (3) 主 催 国土交通省、コートジボワール政府
アフリカ・インフラ協議会 (JAIDA) ※
- (4) 出席者 <日本側>
国土交通省 (古川国土交通副大臣、小笠原海外プロジェクト審議官他)、在コートジボワール日本国大使館 (一方井大使他)、JICA コートジボワール事務所 (若林所長他)、アフリカ・インフラ協議会 (宮本会長、奥村代表、会員企業 19 社) 他
<コートジボワール側>
コートジボワール政府 (マンベ首相、クアク設備・道路整備大臣、コネ運輸大臣、コネ建設・住宅・都市計画大臣、アトム外務・アフリカ統合・在外自国民大臣他)、コートジボワール民間企業、フランス民間企業
- (5) 出席者数 日本・コートジボワールなど合計 約 200 名

(6) 結果概要 別紙参照



開会挨拶する古川副大臣



マンベ首相と握手する古川副大臣



運輸大臣との会談

※2016年8月に開催された TICAD VI（ケニアにて開催）を契機として、2016年9月に本邦インフラ関連企業を中心として設立された会議体(JAIDA)。アフリカ各国との関係構築を図ること、並びにインフラ案件の発掘及び形成を官民連携して促進することを目的としている。

【問い合わせ先】

総合政策局国際政策課(グローバル戦略) 中田、藤田、吉本

電話：03-5253-8111（内線 25228、25227、25226）、03-5253-8314（直通）

1. 日・コートジボワール官民インフラ会議（1月10日）

- （１）日 程 令和7年1月10日（金）
 （２）会 場 コートジボワール共和国アビジャン（Noom Hotel）
 （３）主 催 国土交通省、コートジボワール政府
 （４）出席者 日本・コートジボワール合計 約 200 名

<日本側：約 60 名>

国土交通省（古川国土交通副大臣、小笠原大臣官房海外プロジェクト審議官他）、在コートジボワール日本大使館（一方井特命全権大使他）、JICA コートジボワール事務所（若林所長他）、アフリカ・インフラ協議会（JAIDA）（宮本会長、奥村代表、会員企業 19 社（順不同：清水建設株式会社、株式会社フジタ、酒井重工業株式会社、株式会社オリエンタルコンサルタンツ、豊田通商株式会社、日本製鉄株式会社、丸紅株式会社、株式会社カシク、伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社、五洋建設株式会社、JFE エンジニアリング株式会社、日本信号株式会社、住友商事株式会社、東亜建設工業株式会社、東洋建設株式会社、三菱商事株式会社、株式会社荏原製作所、株式会社メタルワン、伊藤忠商事株式会社））他

<コートジボワール側：約 140 名>

コートジボワール政府（マンベ首相、クアク設備・道路整備大臣、コネ運輸大臣、コネ建設住宅都市計画大臣、アドム外務・アフリカ統合・在外自国民大臣他）、コートジボワール民間企業、フランス民間企業

（５）会議概要

○ 開会挨拶

会議の開会にあたり、日本とコートジボワールの双方から代表者より開会挨拶が行われた。

<開会挨拶 登壇者>

- 国土交通省 古川康 国土交通副大臣
- 在コートジボワール日本大使館 一方井克哉 特命全権大使
- アフリカ・インフラ協議会 宮本洋一 会長（清水建設株式会社代表取締役会長）
- コートジボワール設備・道路整備省 クアク大臣



開会挨拶する古川副大臣



開会挨拶するクアク設備道路大臣



開会挨拶後のフォトセッション

○ プレゼンテーション

日本からは官民の参加者による本邦企業の技術・知見の共有や ODA による協力等の取組状況を紹介した。コートジボワール政府からは、マンベ首相による基調講演のほか、各省から同国のインフラプロジェクトや投資環境の状況説明と日本への期待について述べられた。

<基調講演 登壇者>

- コートジボワール政府 マンベ首相

<プレゼンテーション 登壇者>

- コートジボワール道路管理公社、COULIBALY Salimatta 課長
- コートジボワール運輸省、M. Alliagui Abdoulaye 副官房長
- コートジボワール水利省、DJRAMADO Yao Paul 局長
- コートジボワール建設住宅都市計画省、Koné Bruno Nabagne 大臣
- JICA コートジボワール事務所 若林所長

<JAIDA 企業紹介 登壇者（登壇順）>

- 清水建設株式会社 大迫一也 土木国際支店常務執行役員支店長
- 株式会社フジタ 田村和也 国際本部土木営業部長
- 酒井重工業株式会社 多々良澄 海外事業本部 営業部 第2営業室 室長
- 株式会社荏原製作所 辻健 マーケティング推進部課長
- JFE エンジニアリング株式会社 菅原篤 社会インフラ本部海外事業部営業部 GM
- 日本信号株式会社 赤堀徹 ウガンダ営業所長
- 五洋建設株式会社 田口治宏 執行役員
- 住友商事株式会社 宮本俊平 建機ソリューション SBU サブリーダー
- 東亜建設工業株式会社 法月強太 国際事業本部営業部部長



基調講演するマンベ首相



マンベ首相と握手する古川副大臣



QIC 会議の様子

○ 閉会挨拶

会議の閉会にあたり、コートジボワール外務大臣からの閉会挨拶が行われた。

<閉会挨拶 登壇者>

- コートジボワール外務省 アドム外務大臣



閉会挨拶するアドム外務大臣



アドム外務大臣と握手する古川副大臣

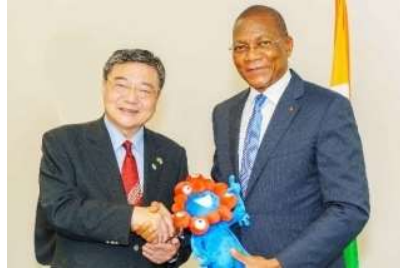
2. コートジボワール関係閣僚等とのバイ会談（1月10日）

古川国土交通副大臣は、コートジボワールにおいてインフラ事業を所管するコートジボワール政府首相、運輸大臣、外務大臣、水利省大臣代理（官房長）、建設住宅都市計画大臣との会談を行い、同国のインフラ分野における協力関係を確認した。

また、本会談には宮本 JAIDA 会長（清水建設株式会社）、奥村 JAIDA 代表（株式会社フジタ）、他 JAIDA 会員企業数社も参加し、企業紹介を行った。



運輸大臣との会談



建設住宅都市計画大臣との会談



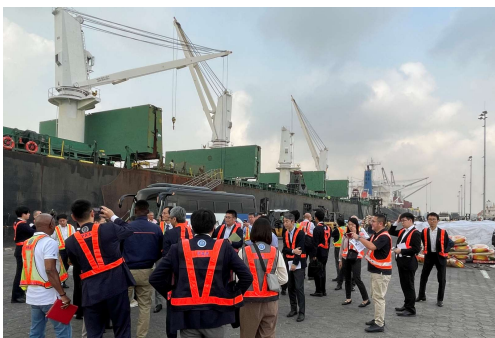
外務大臣との会談

3. コートジボワール・アビジャンにおけるインフラ等視察（1月11日）

古川国土交通副大臣は、日・コートジボワール官民インフラ会議の翌1月11日に、アビジャン市内のインフラ等の視察を行い、各現場の担当者から案内を受けた。フェリックス・ウフエ＝ボワニ大学のジャパン・コーナーでは、アウレ教授をはじめとした施設担当者と「アフリカでの人材育成」について意見交換を行った。

＜アビジャン市内インフラ視察等 視察先＞

- アビジャン港穀物バース
- 日本・コートジボワール友好交差点
- アビジャン三連続交差点 建設現場
- ココディ大学病院
- フェリックス・ウフエ＝ボワニ大学 日本語学校（ジャパン・コーナー）



アビジャン港穀物バース



日本・コートジボワール友好交差点



アビジャン三連続交差点 建設現場



ココディ大学病院



フェリックス・ウフエ＝ボワニ大学
日本語学校（ジャパン・コーナー）

4. フランス土木連合会（FNTP）と JAIDA 会員企業の意見交換会（1月8日）

古川国土交通副大臣は、1月8日にフランス・パリにおいて、仏土木連合会（FNTP）、国際建設業協会連合との意見交換会を行った。ラウンドテーブルでは、FNTP会員企業よりセネガルにおける優良PPP事業例がプレゼンされるとともに、JAIDA企業を含めた意見交換会参加者の自己紹介が行われた。

FNTP会長グリゾー氏とのバイ会談においては、日本とフランスのアフリカにおけるインフラ整備に係る協力関係の推進が再確認された。また、大規模プロジェクトが必要なアフリカの開発においては、PPPの重要性が改めて認識され、案件形成においては、パートナー企業等の体制構築について、プロジェクト管理の視点も重要であると強調された。



意見交換会



バイ会談（FNTP）

5. セネガルインフラ関係省庁への表敬訪問（1月9日）

古川国土交通副大臣は、1月9日にセネガル・ダカールにおいて、セネガルのインフラ事業を所掌する漁業海洋港湾インフラ大臣、水利衛生大臣、陸上航空運輸インフラ大臣をそれぞれ表敬訪問し、同国のインフラ整備における本邦企業の参画等について意見交換を行った。

表敬訪問において、日本側からは、セネガルのインフラ整備における本邦企業の知見・技術の活用への期待や TICAD 9 に向けた連携強化の重要性について述べるとともに JAIDA 企業の紹介を行った。また、セネガル側からは、同国が掲げる国家ビジョン「セネガル 2050」の説明に加え、今後の港湾整備や、内陸への道路・鉄道整備の計画案件に関するインフラプロジェクトや計画の紹介があったほか、日本企業の参画や投資への期待について言及があった。

<表敬訪問先>

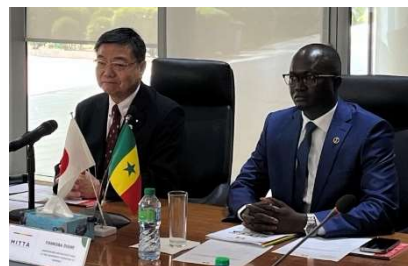
- ファトゥ・ジュフ 漁業海洋港湾インフラ大臣
- シエイ・ティディアン・ジェイ 水利衛生大臣
- ヤンコバ・ディエメ 陸上航空運輸インフラ大臣



漁業海洋港湾インフラ省との会談



水利衛生省との会談



陸上航空運輸インフラ省との会談